

# まほろば秦野通信

令和4年7月25日

タイトル	<b>秦野市指定無形民俗文化財</b> つるまきしもぶおおやまとうろうぎょうじ <b>鶴巻下部大山灯籠行事</b>
When (いつ)	<b>【灯明期間】</b> 7月25日(月曜日)～8月17日(水曜日) 18:00～20:00 <b>【灯籠解体】</b> 8月18日(木曜日) 17:00～18:00 ※灯籠建ては、7月25日(月曜日) 17:00～実施
Where (どこで)	鶴巻第一自治会館敷地内 (所在地: 秦野市鶴巻南四丁目8番2号)
Who (だれが)	鶴巻下部大山灯籠保存会 会長 <small>せきの ゆきお</small> 関野 行夫
What (なにを)	大山灯籠行事とは、大山詣りでにぎわった「夏山」と呼ばれる期間(旧暦6月27日～7月17日)に、灯籠を組み立て、旅人の夜道を照らす灯明をともし行事です。 当保存会が行っているこの献灯習俗は、神奈川県以外にも東京都や埼玉県でも行われていますが、いずれも常夜灯という形式ではなく、大山の夏山期間に行われるのが特徴です。
How (どのように)	市内や近隣の大山灯籠には見られない覆屋も組み立てる鶴巻の大山灯籠行事は、灯籠の竿部に「明和六年(1769)年建立、文政五年(1822)再建」と刻まれていることから、大山詣りが盛んだった江戸時代中期から後期には行われていたと考えられます。 江戸時代中期以降の大山に対する庶民信仰を示す貴重な習俗であるこの行事を後世に遺していくべき無形文化財として、秦野市は平成27年6月23日に市指定重要無形文化財に指定しました。
Why (なぜ)	なお、灯のともった大山灯籠のほか、保存会が屋外で行う灯籠や覆屋の組立て、解体作業も見学できます。
過去の実績	この行事は、江戸時代中期に始まったと考えられており、毎年同じ日に実施しています。
ホームページ URL	<a href="https://www.city.hadano.kanagawa.jp/www/contents/1001000002237/index.html">https://www.city.hadano.kanagawa.jp/www/contents/1001000002237/index.html</a>
問い合わせ	生涯学習課 文化財・市史担当: 小林 電話: 0463-87-9581